

共生のトビラ Vol.10

2025年12月号

～地域や企業が抱える課題解決をめざして～

「共生のトビラ」
バックナンバー
こちらから➡



1. 「外国人と備える防災訓練」を実施しました！

地域×日本語学校×袋井市

上山梨自主連合防災隊と日本語学校(TLS袋井)と周南中の生徒が連携・協働して訓練を実施



応急救護



テントの設営



仮設トイレ組立

留学生へのアンケート結果 (N=12)

Q1 あなたの国で 今日の訓練をする 習慣がありますか？

はい 16%

いいえ

84%

Q2 地震が起きたとき 助ける人になりたいと思いましたか？

はい

100%

留学生からのコメント

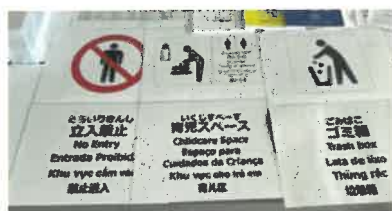


骨折したときの対処法などが分かった
ので、困っている人がいたらやって
みたいです。

実際の避難所では、どのようにしたら過
ごしやすいか、たくさんの工夫が必要に
なるのだらうと思いました。



避難所運営キットを全指定避難所(62か所)へ



市ホームページにもデータ
を掲載していますので、地
域の避難所となる公会堂
等でもご活用ください。

2. 世界びっくり・ふしぎ・ほっこりエピソード展

磐田・袋井・掛川インターナショナルフェスタにて展示予定

【日時】 令和8年1月24日(土)・25日(日)

【会場】 ららぽーと磐田(中央広場を予定)

※その他、月見の里学遊館など市内各地で展示予定

公募により集まった700点のうち、来場する
皆さんと共有したい内容を市民が70点
選定しました。「多文化共生って、そういう
ことなのか!」につながるようなリアルなエピ
ソードを展示します。



予告編をご紹介します！

外国人のリアルな気持ち♪



12月は
多文化共生
月間!



Intercultural SHIZUOKA
多文化共生県静岡

4. 木原自治会での活動をご紹介します！

袋井西地区の木原自治会では、自治会に加入している約145世帯のうち約6%が外国人世帯です。外国人との共生に向け、さまざまな活動が実施されています。



班長として活躍する寺島さんへインタビュー！



寺島・エウリコ・エイジさんと妻のジョアナさんはブラジル出身の日系2世で、木原に住んで11年、今年、初めて班長を務めることになりました。

言葉の壁に不安を抱えながらも、周りに支えられ、地域活動に参画する大切さを実感しています。

木原自治会の温かさが寺島さんとジョアナさんの心に印象深く根付いています。



-班長になった感想を教えてください。

はじめは、言葉の面と、仕事と両立できるかが心配でした。しかし、**周りの方々がサポートしてくれました。**自治会の役員になることで、**自分の住む地域のことを知る**ことができ、**周りの日本人とより関わりやすくなりました。**地域の一員であることをとても実感しています。

-木原自治会のどんなところが好きですか？

周りの方々が本当に親切で、外国人であることに関係なく、温かく接してくれます。自分たちだけではなく、他の外国人にも同じように接しています。ずっと木原に住み続けたいです。

木原が大好きです♡

-班長の経験をどのように活かしたいですか？

木原自治会には他にも外国人がいて、当番制で**他の方も班長になる可能性があります。**自分の経験を活かして、**「みんなのサポートがあるから大丈夫だよ」とアドバイス**をしたいです。

-読者にメッセージをお願いします！

お互いにコミュニケーションをすることが一番大切だと思います。**ぜひ皆さんからも外国人にも気軽に声をかけてくれるととても嬉しいです。**木原自治会のような地域が増えると、皆が住みやすくなりますね。



木原の夏祭りの様子を紹介！

毎年開催している夏祭りでは、日本人も外国人も、同じ地域の仲間としてみんなで楽しみながら参加しています。

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」で夏祭りの案内を作成しました！



手作りの案内を持つ自治会長(令和6年度)

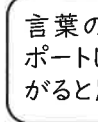


地域の日本人からのコメント



Tさん

寺島さんとは夏祭りをきっかけに関係を築くことができた。外国人と顔を合わせる場づくりが必要。こちらから話しかけていきたい。



Hさん

言葉の壁はあるものの、班のみんなでサポートし合えることが外国人との共生につながると思う。



Yさん

寺島さんは班長をお願いしたら快く引き受けてくれた。他の外国人も防災訓練に出ている。ありがたい存在。



近所の人々で集合写真！



手作りのブラジルホットドッグとプリンも提供！